



平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 8 日

上場会社名 三菱レイヨン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3404

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.mrc.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長 社長執行役員 氏名 皇 芳之

問合せ先責任者 役職名 執行役員 広報・IR室長 氏名 立林 康巨 TEL (03) 5495 - 3100

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

・固定資産の減価償却の方法...年度見込み額のうち当四半期分を計上しています。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

・退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理方法...従来、数理計算上の差異は発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として5年）による定額法により翌連結会計年度から費用処理する方法を採用していましたが、主として発生時の翌連結会計年度に全額費用処理する方法に変更しています。この結果、従来の方法による場合と比較し、税金等調整前四半期純利益は24億11百万円減少しています。

・固定資産の減損に係る会計基準...当第3四半期から「固定資産の減損に係る会計基準」を適用しています。これにより税金等調整前四半期純利益は9億32百万円減少しています。

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容)

連結 (新規) 1社 (除外) 1社 持分法 (新規) - 社 (除外) 2社

2. 18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	252,174	5.0	29,106	31.6	30,923	53.6	19,083	70.6
17年3月期第3四半期	240,114	6.8	22,113	11.4	20,125	20.1	11,186	7.9
(参考)17年3月期	330,106		30,802		27,806		14,438	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	31.68	-
17年3月期第3四半期	18.29	-
(参考)17年3月期	23.52	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しています。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

化成品・樹脂事業

MMAモノマーは、海外向け販売が好調に推移しました。アクリル樹脂成形材料は、導光板向け用途、車両用途共に順調に推移し、アクリル樹脂板は、液晶モニター用導光板、携帯電話用途向け表面硬化アクリル樹脂板の販売が引き続き好調でした。塗料用樹脂は、日本での自動車・船舶・建築塗料用途が順調に推移しました。情報材料関連では、液晶用プリズムシート「ダイヤアート」の韓国向けノート型パソコン用途等で大幅な増収となりました。各事業とも、原燃料価格の高騰・高止まりに対し、製品価格の是正に努めました。

繊維事業

アクリル短繊維は、日本市場の縮小が進み減販となりました。また、原燃料価格の高騰・高止まりに対して製品価格の値上げとコストダウンに努めましたが、十分な成果を得るに至りませんでした。三菱レイヨン・テキスタイル㈱は、主力のアセテート繊維が順調に推移しました。

炭素繊維・複合材料、機能膜事業その他

炭素繊維・複合材料事業では、産業、航空機用途での需要拡大により市場全体の需給はタイトな状況が続き、販売は好調に推移しました。原燃料価格の高騰に対して、コストダウン、製品価格への転嫁を進めました。機能膜事業については、家庭用浄水器は引き続き順調に推移し、機能膜製品では新規膜を使用した下排水処理用途向け新中空糸膜ユニットの販売に注力しました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は2,521億74百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は291億6百万円(同31.6%増)、経常利益は309億23百万円(同53.6%増)、四半期純利益は190億83百万円(同70.6%増)となりました。

なお、当第3四半期における営業利益の前年同期比69億93百万円の増益には、退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理方法変更による影響額として6億97百万円の減益要因が含まれています。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	385,190	177,363	46.0	295.71
17年3月期第3四半期	351,128	153,914	43.8	251.73
(参考)17年3月期	345,989	156,842	45.3	256.46

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	27,974	17,533	9,426	9,764
17年3月期第3四半期	31,898	14,622	19,081	11,221
(参考)17年3月期	38,046	23,081	19,115	8,426

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

(1) 財政状態

総資産は前期末と比べ392億1百万円増加し、3,851億90百万円となりました。主としてたな卸資産、有形固定資産及び投資その他の資産が増加しました。

負債は前期末と比べ173億64百万円増加し、1,963億28百万円となりました。主として支払手形及び買掛金、借入金が増加し、社債及び退職給付引当金が減少しました。

株主資本は自己株式の消却があったものの、その他有価証券評価差額金の増加や当第3四半期純利益などにより、前期末と比べ205億21百万円増加し、1,773億63百万円となりました。

(2) キャッシュ・フロー

当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、財務活動による支出が減少したものの、営業活動による収入が減少し、投資活動による支出が増加したことなどにより、前年同期に比べ14億57百万円減の97億64百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益は増加したものの、たな卸資産の増加、退職給付引当金の減少などにより、前年同期比39億24百万円収入減の279億74百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比29億11百万円支出増の175億33百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出があったものの、借入金の増加などにより、前年同期比96億55百万円支出減の94億26百万円の支出となりました。

3. 18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回業績予想 (A)	340,000	35,000	35,000	21,000
今回業績予想 (B)	345,000	38,000	38,000	22,500
増減額 (B - A)	5,000	3,000	3,000	1,500
増減率 (%)	1.5	8.6	8.6	7.1

(参考1) 1株当たり予想当期純利益（通期） 37円51銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年3月期の通期業績予想は、平成17年11月10日に公表した前回業績予想に比べ、化成品・樹脂事業及び炭素繊維・複合材料事業が好調に推移する見通しで、売上高は前回予想から50億円増収の3,450億円、営業利益、経常利益は各々30億円増益の380億円、当期純利益は15億円増益の225億円と予想しています。

(参考2) 事業の種類別セグメント業績予想（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	前回業績予想 (A)	今回業績予想 (B)	増減額 (B - A)	前回業績予想 (A)	今回業績予想 (B)	増減額 (B - A)
化成品・ 樹脂事業	166,000	169,000	3,000	26,000	28,000	2,000
繊維事業	86,000	86,000	-	2,000	1,500	500
炭素繊維・複合材料、 機能膜事業その他	88,000	90,000	2,000	7,000	8,500	1,500
計	340,000	345,000	5,000	35,000	38,000	3,000

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[参考]

18年3月期の個別業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回業績予想 (A)	225,000	20,500	24,500	16,000
今回業績予想 (B)	225,000	22,000	26,000	16,500
増減額 (B - A)	-	1,500	1,500	500
増減率 (%)	-	7.3	6.1	3.1

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 27円51銭

(添付資料)

1. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (17.4.1~ 17.12.31)	前第3四半期 (16.4.1~ 16.12.31)	増 減	前 期 (16.4.1~ 17.3.31)
売 上 高	252,174	240,114	12,060	330,106
売 上 原 価	184,212	179,415	4,797	247,633
売 上 総 利 益	67,962	60,699	7,263	82,472
販売費及び一般管理費	38,856	38,586	270	51,670
営 業 利 益	29,106	22,113	6,993	30,802
営 業 外 収 益	3,654	2,370	1,284	2,924
営 業 外 費 用	1,837	4,357	2,520	5,920
経 常 利 益	30,923	20,125	10,798	27,806
特 別 利 益	9,736	655	9,081	2,020
特 別 損 失	8,564	2,013	6,551	5,433
税金等調整前四半期(当期)純利益	32,094	18,767	13,327	24,393
法人税、住民税及び事業税	10,108	5,913	4,195	8,301
法 人 税 等 調 整 額	-	-	-	435
少 数 株 主 利 益	2,902	1,668	1,234	2,088
四半期(当期)純利益	19,083	11,186	7,897	14,438

(注) 増減は当第3四半期と前第3四半期との比較で表示しています。

2.(要約)四半期連結貸借対照表
(単位:百万円)

科 目	当第3四半期末 (17.12.31現在)	前 期 末 (17.3.31現在)	増 減	前第3四半期末 (16.12.31現在)
[資 産 の 部]				
流 動 資 産				
現金及び預金	9,774	8,446	1,328	11,241
受取手形及び売掛金	77,299	77,653	354	74,336
たな卸資産	50,020	37,685	12,335	44,191
その他の	18,953	13,975	4,978	16,596
貸倒引当金	1,038	993	45	463
流動資産合計	155,009	136,767	18,242	145,902
固 定 資 産				
有形固定資産	145,154	135,137	10,017	133,109
無形固定資産	5,602	5,313	289	5,323
投資その他の資産	79,423	68,771	10,652	66,793
固定資産合計	230,180	209,221	20,959	205,226
資 産 合 計	385,190	345,989	39,201	351,128
[負 債 の 部]				
流 動 負 債				
支払手形及び買掛金	64,833	52,786	12,047	59,818
短期借入金	42,573	35,634	6,939	36,290
1年内償還予定の社債	-	10,000	10,000	10,000
その他の	32,214	26,866	5,348	26,936
流動負債合計	139,620	125,287	14,333	133,046
固 定 負 債				
社 債	10,000	10,000	-	10,000
長期借入金	11,883	5,683	6,200	5,993
退職給付引当金	31,147	34,609	3,462	34,814
その他の	3,675	3,383	292	3,308
固定負債合計	56,707	53,677	3,030	54,116
負 債 合 計	196,328	178,964	17,364	187,162
[少 数 株 主 持 分]				
少 数 株 主 持 分	11,498	10,183	1,315	10,052
[資 本 の 部]				
資 本 金	53,229	53,229	-	53,229
資本剰余金	28,785	33,956	5,171	33,956
利益剰余金	84,128	69,709	14,419	66,456
土地再評価差額金	30	30	-	30
その他有価証券評価差額金	14,168	5,496	8,672	4,666
為替換算調整勘定	2,867	5,298	2,431	4,163
自己株式	112	281	169	263
資 本 合 計	177,363	156,842	20,521	153,914
負債、少数株主持分及び資本合計	385,190	345,989	39,201	351,128

(注)増減は当第3四半期末と前期末との比較で表示しています。

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (17.4.1~ 17.12.31)	前第3四半期 (16.4.1~ 16.12.31)	増 減	前 期 (16.4.1~ 17.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益	32,094	18,767	13,327	24,393
減 価 償 却 費	11,440	11,676	236	15,762
退職給付引当金の増減額	3,346	1,390	4,736	1,189
売上債権の増減額	430	3,034	2,604	570
たな卸資産の増減額	12,169	5,396	6,773	834
仕入債務の増減額	11,760	11,179	581	4,389
そ の 他	12,234	8,754	3,480	7,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,974	31,898	3,924	38,046
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	18,882	17,296	1,586	25,831
そ の 他	1,348	2,673	1,325	2,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,533	14,622	2,911	23,081
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額	7,765	3,279	11,044	4,696
長期借入れによる収入	9,102	1,067	8,035	2,912
長期借入金の返済による支出	4,777	1,617	3,160	2,068
社債の償還による支出	10,000	10,000	-	10,000
自己株式の取得による支出	5,007	69	4,938	90
配当金の支払額	4,553	3,991	562	3,977
そ の 他	1,956	1,192	764	1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,426	19,081	9,655	19,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	323	243	80	207
現金及び現金同等物の増減額	1,337	1,562	2,899	4,356
現金及び現金同等物の期首残高	8,426	12,783	4,357	12,783
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	9,764	11,221	1,457	8,426

(注)増減は当第3四半期と前第3四半期との比較で表示しています。

4. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（平成17年4月1日から平成17年12月31日まで）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂事業	繊維事業	炭素繊維・ 複合材料、 機能膜事業 その他	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に対する売上高	125,395	61,844	64,935	252,174	-	252,174
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,926	45	22,457	29,429	(29,429)	-
計	132,321	61,889	87,393	281,604	(29,429)	252,174
営業費用	111,448	60,515	80,627	252,590	(29,522)	223,068
営業利益	20,873	1,374	6,765	29,013	93	29,106

前第3四半期（平成16年4月1日から平成16年12月31日まで）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂事業	繊維事業	炭素繊維・ 複合材料、 機能膜事業 その他	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に対する売上高	113,751	65,609	60,753	240,114	-	240,114
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,444	78	22,981	29,505	(29,505)	-
計	120,196	65,688	83,735	269,620	(29,505)	240,114
営業費用	104,272	63,610	79,695	247,579	(29,577)	218,001
営業利益	15,923	2,077	4,039	22,041	71	22,113

前期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂事業	繊維事業	炭素繊維・ 複合材料、 機能膜事業 その他	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に対する売上高	154,345	89,295	86,466	330,106	-	330,106
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,479	95	31,726	40,301	(40,301)	-
計	162,824	89,390	118,192	370,408	(40,301)	330,106
営業費用	140,692	86,648	112,370	339,711	(40,407)	299,303
営業利益	22,132	2,742	5,822	30,696	105	30,802

（注）事業区分の方法の変更

当第3四半期より、従来「機能製品・エンジニアリング事業外」に含めていた情報材料（主要製品：プラスチック光ファイバー、プラスチックロッドレンズ、映像表示材料）を「化成品・樹脂事業」に含め、「機能製品・エンジニアリング事業外」の名称を「炭素繊維・複合材料、機能膜事業その他」に変更しています。

なお、上記の前第3四半期及び前期は変更後の事業区分により記載しています。